

2026年度 町田市立鶴川中央小学校

新一年生保護者入学説明会資料



2026年 1月28日(金) 14:00～

町田市立鶴川第三小学校 於 体育館

入学についての情報は、町田市立鶴川中央小学校ホームページからも発信しています。

『鶴川中央小学校ホームページ』



【問い合わせ先】

鶴川第三小学校 電話(042)735—2127 鶴川第四小学校電話(042)735—2868

◆学校長あいさつ

◆入学に向けて

0-1 登下校の安全について(町田警察署交通課)

0-2 鶴川中央小学校の説明

0-3 町田市教育委員会より

1 入学式

2 入学までにできるようにしたいこと

3 入学までに準備すること

4 入学後の生活

5 就学援助

6 特別支援

7 健康面

8 学校給食

9 鶴川中央小学校保護者組織について

◆2026年度 通学路 コース別班について

※本日 通学路を確認していただき、下校コースを選択し、用紙を提出してお帰りください。

また、下校コースのリボンをお帰りの際にお取りください。

併せて下記の QR コードから『鶴川中央小学校 通学手段について』のアンケートにお答えください。(通学手段・バスの乗降場所(バス利用者)・コース別班・学童クラブなど)

鶴川中央小学校 事前アンケート

『鶴川中央小学校 通学手段について』
(新入生・在校生共通)



【回答期限 2月13日(金)】

※教科書及び本日配布以外の各種書類は、入学式にて配布いたします。

1 入学式

1 日時 2026年4月7日(火) 午前9時45分開式

※在校生は式には参加できません。

2 会場 体育館

3 持ち物 **児童** ランドセル等・上履き・上履き入れ・ハンカチ・ティッシュ

保護者 就学通知書・本日配布の封筒・児童理解のための資料

※個人情報なので本日配布の封筒に入れて書類をお持ちください。

上履き・下履き入れ

4 当日の予定

① 受付 午前9時00分～9時30分(厳守)

場所: 東昇降口前(鶴二中側)

雨天時 東昇降口中

・受付の前に、クラス編成名簿を受け取ります。

・クラスの受付にて、本日配布の封筒に入れた就学通知書と児童理解のための資料を提出します。

・児童の名札をもらって胸に付けます。

② 受付終了後

児童 教室で待機し、9時40分体育館へ移動します。

保護者 教室で、机の上にある教科書等の入った紙袋を受け取ります。

その後、児童と教室で別れ、そのまま直接入学式場(体育館)へ、10時20分までに向かいます。

*保護者の下履きは児童の下駄箱には置かず、必ず体育館へお持ちください。

③ 入学式

・学校長の話

・担任、職員の紹介

・その他

④ 式後 ・写真撮影(保護者は式場にて着席のままお残りください。)

⑤ 写真撮影後 児童はクラス毎に教室にて学級活動

⑥ 下校11時15分頃 保護者は校庭で児童を待ちます。

*やむを得ない理由で入学式を欠席される場合は、必ず9時までに学校へご連絡ください。(TEL042-735-2127)

※以下のものは学校で購入し、入学式で配布されますので購入しないでください。

・連絡帳、連絡袋	・名札	・自由帳	・国語、算数のノートの一冊目
・生活科探検バッグ	・防犯ブザー	・道具箱	・粘土、粘土板
・色鉛筆(15色)	・のり	・マイネーム	・クレパス(16色)
・クリアホルダー(掲示用)	・算数ブロック		(約6,000円)

2 入学までに できるようにしておきたいこと

1 規則正しい生活

- ・ 決まった時刻に自分で寝たり起きたりする。
- ・ 自分できちんと身支度を整える。
- ・ 朝食を必ずとる。
- ・ 自分で洗面、歯みがきをする。
- ・ トイレへは自分で行き、後始末までできるようにする。
(排便はできるだけ朝のうちに済ませる。)
- ・ うがい手洗いをきちんとする。
- ・ 紐が結べるようにする。(ちょうちょう結びができる。)
- ・ 立ったままで靴を脱いだり、履いたりする。
- ・ 脱いだ靴を靴箱にしまう。

学校のトイレは洋式が主です。校外学習の際は、その限りではありませんので、和式トイレ、男子は立って小便をするなど、便器の使い方を練習しておいてください。

2 話すこと 聞くこと

- ・ 名前を呼ばれたら、「はい」と大きな声で返事をする。
- ・ 「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございます」などのあいさつをする。
- ・ 「〇〇を忘れました」など、自分が困っていること、必要なことをはっきりと話す。
- ・ 人の話を最後まで聞く。
- ・ 友達は〇〇さんなどと呼ぶ。

3 服装 持ち物

- ・ 活動的な服装、運動しやすい靴にする。
- ・ 衣服の着脱の際、きちんとたたむ。(自分で脱ぎ着できる衣服にする。)
- ・ 通学用の箱型カバンの扱い方、学用品の出し入れに慣れる。
- ・ 自分で傘をさしたり、たたんだりする。(折りたたみ傘も)
- ・ ハンカチ、ティッシュを身に付ける。(なるべくポケットのついている洋服を選ぶ。)
- ・ 自分の物と人の物の区別がつくようにする。
(持ち物には全てひらがなで記名してください。1年生のうちは、靴下やシャツ等の落し物がみられます。)

4 こんなことも…

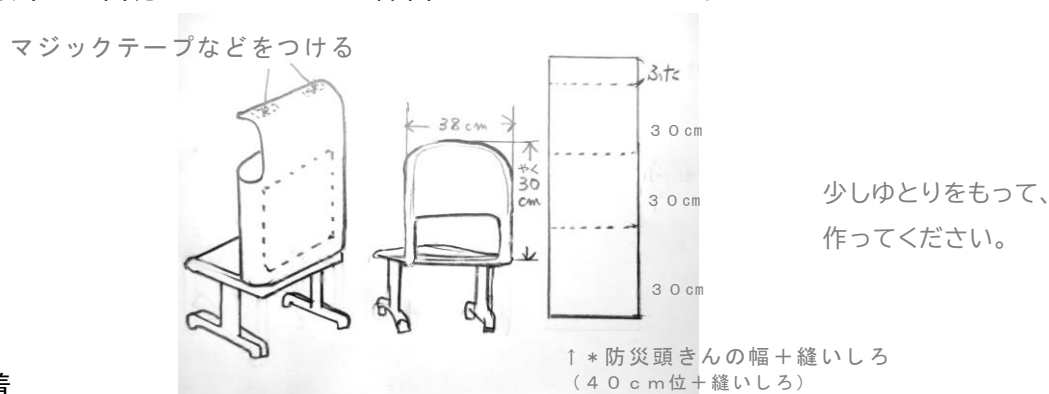
- ・ 通学路を覚える。(入学前にお子さんと実際に歩いてみる。)
- ・ ひらがなで書かれた自分の名前を読む。
- ・ 箸を正しく持ち、お椀をもって食事をする。
- ・ 安全ピンを付け外しできる。(名札をつけるため)

3 入学までに準備するもの

記名は大きくはっきりと、見やすい場所に、ひらがなで書いてください。
(学習用品はお子さんが学習に集中できるよう、ご配慮をお願いします。)

- 1 通学用箱型カバン(両肩で背負えるもの)
- 2 ふで箱(箱型で学習に集中できるように、シンプル(無地)で、鉛筆が1本ずつ収納できるもの)
 - ・鉛筆(2BかB)4~5本(シンプルでキャラクター柄のない角柱のもの)
 - ・赤鉛筆 1本 ・消しゴム 1個(シンプルで白いもの、よく消えるもの)

※ものさしは学習が進めば必要になります。鉛筆キャップはいりません。
- 3 はさみ
(キャップ付きで、お子さんの手にあったもの:特にお子さんが左利き用を使用する場合)
- 4 下敷き(A4サイズ、シンプルでキャラクター柄のないもの)
- 5 上履き(バレースューズでない、体育館で体育の時にも使うので脱げにくいもの)
 - ・つま先上面と、かかと背面に平仮名で記名
- 6 上履き入れ(フックにかけやすいように、紐は幅の狭いものを)
- 7 防災頭巾(カバーをつけて椅子の背につけられるように)★下図参照
※防災頭巾は、自分でかぶれるよう練習しておいてください。



- 8 体育着
(赤白帽子、白の半そで、紺の短パン)
 - ・体育着の内側タグ等に記名してください。
 - 9 体育着袋 上記のものが入る巾着のようなもの。
(寒くなるとトレーナーやズボンを入れることもあるので、余裕のある大きさがよいです。)
 - 10 給食袋
(毎日持ち帰り使用する物なので2~3組必要です。中に給食セットを入れます)
- 給食セット {
- ・給食ランチョンマット(40cm×60cmくらい)
 - ・マスク(予備を通学用力バンに入れておきます。)
 - ・給食用ミニタオル(口を拭くのに使います。)
- }
- 11 手提げ袋(縦40cm以内のサイズで、2つ用意しておくといいです。)
 - ・週の始めと終わりに、上履き、体育着などをまとめて入れるのに使います。
 - ・図書の時間に借りた本を持ち帰るために使います。

○うわばき

甲に記名



○うわばき袋

・持ち手は細いひも (フックから落ちやすいため)



○体育着袋

・冬はトレーナーも入れます。



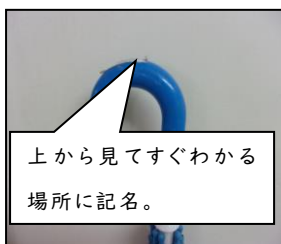
○体育着



記名

帽子にも必ず記名。
紛失が多いです。

○傘



上から見てすぐわかる
場所に記名。

○図書バッグ・手さげ袋



高さ40cm以内

4 入学後の生活

1 登校時刻 午前8時 5分～8時15分

校舎開扉 8時 5分

始業 8時20分

＊8時 5分より前に校舎の中へは入れません。

(雨の日は早めに校舎を開扉することがあります。)

2 4月中の時間割や持ち物などの連絡は、学年だよりに載せますので、それにしたがってご用意ください。

3 欠席・遅刻・早退・体育の見学等

＊学校から入学式などの変更がある時などに連絡がいきますので、必ず tetoru の登録をしてください。

＊欠席・遅刻・早退の場合は、tetoru でお知らせください。

＊遅刻、早退時は保護者の方が教室まで送り迎えをしてください。

＊体育の見学は、連絡帳で必ずお知らせください。

＊中央公園側の校門は8時30分に閉まります。遅刻の時は正門(プール脇の門)から入るようにしてください。

4 通学路を守って、登下校させてください。

入学後2週間程度、集団下校して下校を見守ります。

最初の3日間の下校時に、さまざまなトラブルが発生することがあります。それをできる限り防ぐため、次のことをお願いいたします。

＊通学路(行き・帰りとも)を確認し、練習しておく。(3月中に、お子さんと一緒に通学路を確認し、道順をはっきりさせるとともに、安全な歩き方なども具体的に教えてあげてください。)

＊通学路の途中のポイントを覚えさせてください。通学路をはっきり覚えていない場合はわかる場所までお迎えをお願いします。(徐々に、お迎えの距離を短くしていくと思います。)

＊学童を利用するお子さんは、学童に行く日とまっすぐ帰る日を当日の朝、本人と一緒に確認しておいてください。

※7月までの間は、学童を休む人は、利用しない日のみ担任にご連絡ください。

※集団下校終了後、まちとも(放課後こども教室)を利用する日は、連絡帳などで学校にお知らせください。お子さんにも、よく伝えてください。

5 事故防止のため、登校後は忘れ物があっても家に取りには帰ることはできません。

下校後は、原則として、学校に忘れ物を取りに来ることはできません。

その他

＊提出していただく「児童理解のための資料」は、緊急時の連絡等に使用します。入学まで不明な部分(クラス、番号等)は、空欄のまま提出してください。

＊町田市学校給食および学校教材等の手続きは、オンラインで2月28日(金)までにしてください。

問い合わせ先【学校給食】学校給食課 724-2177

【学校教材等】教育総務課 724-2173

5 就学援助について

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭に対し、学用品費、通学費、給食費など学校でかかる費用の一部を補助する制度です。

補助を受けられる方の条件は、生活保護を受けている、または去年の総収入が教育委員会が示す基準程度の方などです。

詳しいことに関しましては、別紙「就学援助(奨励)制度のご案内」をお読みください。詳細は、入学後、改めてご案内をお配りし説明いたしますが、「就学援助費・奨励費認定申請書」をお子さん1人につき1枚提出してください。申請は必ず4月中にお済ませください。4月中に申請しないと、入学準備金等の援助が受けられなくなりますので、ご注意ください。

お問い合わせ:教育委員会 学務課 042-724-2176

6 特別支援教育と教育相談について

特別支援教育とは、「肢体や目や耳などが不自由な児童」・「知的な遅れのある児童」・「学習の遅れのある児童」・「年齢や発達段階に不釣り合いな注意力や多動性・衝動性のある児童」・「こだわりが強い児童」など、特に支援が必要な子供たちに対して、その一人一人にあった適切な教育や指導などを行うものです。「通常の学級」の中にも、学習面や生活面（集団行動・対人関係がうまくできない。整理整頓ができない。なども含む）で特別な教育的支援が必要なお子さんがあります。これらの子供たちに対して、一人一人に応じた指導を行うことが大切であるという考えです。どの子も互いに助け合い高め合って伸びていきます。

◎保護者のみなさんと話し合いながら学校生活や家庭生活の支援の仕方や具体的な手だてを検討していきます。不安や心配なことがありましたら、一人で悩まずに、ぜひ気楽にご相談ください。連絡帳・電話などで、担任を通じてご連絡ください。

○町田市の特別支援教育では、指導の先生が来校して、本校で指導を受けることができる通級指導学級「ことばの教室（言語障がい）」「聞こえの教室（難聴）」「ひとみの教室（弱視）」「サポートルーム（情緒障がい等）」があります。また、毎日登校する特別支援学級（固定級）「肢体不自由学級」と「知的障がい学級」・「情緒障がい学級」があります。入級の希望や見学希望がある場合は、ご相談ください。

○本校では、週1回スクールカウンセラーが来校しています。子育ての悩みや子供の行動など、なんでもお気軽にご相談ください。なお、相談は予約制になっております。ご予約の際は、ご連絡ください。

◎本校にある特別支援学級（固定級）

＜知的障がい学級（どんぐり学級）＞

知的な発達の遅れがあったり、日常生活の会話はほぼ可能なものの、学習の遅れや抽象的な概念の理解に困難があったりする児童を対象として、能力や可能性に応じて、個別学習やグループ指導を行います。

＜自閉症・情緒障がい学級（かわせみ学級）＞

知的な発達に遅れを伴わない自閉症・情緒障がいのある児童で、意思疎通や対人関係、行動への課題や集団参加、ルール遵守といった社会生活への適応に課題がある児童を対象に、能力や可能性に応じて個別指導やグループ指導を行います。

また、特別支援学級の児童は「通常の学級」の児童との相互理解を図り、共に学び合う心を育てるために「通常の学級」と交流しています。

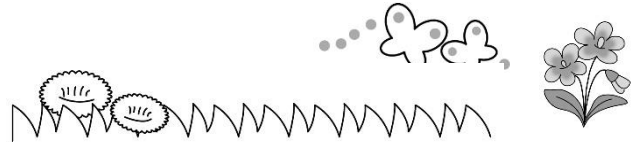
交流の内容

学校行事・学年行事・遠足・社会科見学・特別活動（クラブ・委員会）、給食、教科交流など

7 健康で楽しい学校生活を送るために(保健室より)

心身の準備を

より良い健康状態で入学しましょう



- 就学時健康診断で見付かったむし歯や病気は、病院に受診（相談）して入学に備えましょう。就学にあたり、お子様の健康についてご心配なことなどがありましたら、学校長や養護教諭にご相談ください。
- 心臓病・腎臓病・けいれん・ぜんそく・アレルギー等で主治医より運動や生活に配慮が必要といわれている場合、「学校生活管理指導表」（医療機関記入）を提出していただくことになっています。
- 麻疹（はしか）等の予防接種がまだお済みでない人は、入学前に済ませてください。

規則正しい生活リズムを心がけましょう

早寝・早起き・朝ごはん



○睡眠の大切さ

- ・心身の疲労を回復させます。傷口も修復されます。
- ・免疫力を高めて病原体への抵抗力を上げます。
- ・「寝る子は育つ」といわれるように、入眠後すぐの深い眠りで成長ホルモンが多く分泌され、成長を促します。
- ・昼間の学習が整理され、脳に記憶されます。

低学年に必要な睡眠時間は、約10時間です。夜9時までには寝るようにします。

○朝ごはんは“やる気”のもと

- ・朝食は一日の活動源として、また、体のリズムの上からも欠かせません。脳のエネルギー源であるブドウ糖を供給し、午前中の集中力や記憶力が高まり、学習の効率が上がります。1年生は午前中が勝負ですので朝食は欠かせません。
- ・バランスの良い栄養をとることは、健やかな成長と健康のために大切です。
- ・排便習慣をつくるためにも朝食は必要です。

身の自立と衛生習慣を身に付けましょう

○「気持ちいい」感覚を身に付ける

- ・すっきりした目覚めや洗眼、歯みがき、排便、手洗い、鼻をかむ、爪を切る、お風呂に入るなど、「忘れると気持ちが悪い」「それが当たり前」と感じられるようになるのが習慣化です。

日常の「気持ちいい」体験の積み重ねが習慣化につながります。

○からだのことを自分で考え、対応できる訓練をする

- ・けがをしたときや具合が悪いとき、自分から「どうしてほしいか」を訴えられることや、「どこが・どんなふうに・いつから・どうして」などが言えることは、自己管理への第一歩です。すぐには難しいですが、学校でも取り組んでいきます。



保健室は

- 子供たちが心身ともに健やかに成長していくための健康管理や健康に関する指導など中心的な役割をもっています。
- 学校でけがをした時、具合が悪くなった時の応急処置をします。
応急処置の場は、なぜけがをしたのか、どうすればよかったのかなど、けがや病気を未然に防ぐ手立てを子供と一緒に考える学習の機会でもあります。

けがをしたとき

- 小さなけがは保健室で応急処置をします。（その日に学校で負ったけがに限ります。）あくまでも応急処置ですので、下校後にご家庭で必ずけがを確認してください。その後の継続的な手当てはご家庭でお願いします。
- 医療機関に受診が必要と判断した場合、すぐに保護者に連絡します。保護者の付添いがないければ、検査及び治療ができない場合があります。保護者の方には必ず付き添っていただくようお願いします。
なお、緊急の場合は救急車を要請し、救急搬送します。



具合が悪くなったとき

- 明らかな発熱、嘔吐、下痢、激しい痛みがある場合は、すぐに保護者の方へ連絡をして迎えに来ていただきます。
- 安静にして回復した場合は学習に戻りますが、回復せずにその後の学習活動が続けられない場合は、保護者の方へ連絡をさせていただきます。
- 安全上、児童一人での早退はできません。必ず保護者の方のお迎えをお願いします。

緊急連絡先

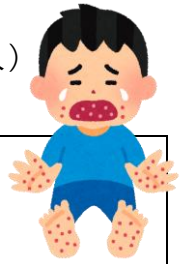
- 入学式当日、『健康調査票』を配布します。記入もれがないようにご記入ください。
緊急の場合に使用しますので、日中に確実に連絡がとれる連絡先・電話番号をお知らせください。お勤め先の会社名（部署等も）・電話番号の記入もあわせてお願いします。
また、提出後に変更や追加がある場合は、速やかに担任までご連絡ください。

日本スポーツ振興センター

- 学校管理下（登校から下校まで）でけがをし、医療機関にかかった時に、そのけがに対する医療費全額の約4割が、後日支給される制度です。（詳細はプリント配布）
- 保険診療での治療が終わった段階で、総治療費 5,000 円（保険診療自己負担3割額で1,500 円）以上かかった場合に給付されます。未満は給付の対象外になります。
- この制度を利用する場合は、町田市の「義務教育就学児医療費助成制度（⓪医療証）」と重複しての申請はできません。学校管理下でのけが等で医療機関受診の際には、⓪医療証を使用せず、保険証のみで受診してください。
- 申請に必要な書類は学校にありますのでお申し出ください。

学校感染症

- 学校感染症にかかった場合は、出席停止の措置（欠席日数に数えない）となります。
下記の感染症にかかった場合は、速やかに学校へご連絡ください。
登校する際は医師による許可が必要になり「登校許可証」（医療機関記入）
または「罹患報告書」（保護者記入）をご提出ください。



「登校許可証」（医療機関記入）の対象となる感染症

1. 百日咳 2. 麻疹（はしか） 3. 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
4. 風疹（三日ばしか） 5. 水痘（水ぼうそう） 6. 咽頭結膜熱（プール熱）
7. 結核 8. 髄膜炎菌性髄膜炎 9. 流行性角結膜炎 10. 急性出血性結膜炎
11. 溶連菌感染症

※「登校許可証」は、学校に取りに来ていただき、医師の証明をもらって、登校の際にご提出ください。

※町田市では、以上11疾患についてのみ「登校許可証」の発行を町田市医師会と委託契約し、公費負担で実施しています。町田市医師会会員の医療機関では無料で証明が受けられます。その他の医療機関にかかる場合は、学校へ個別にご相談ください。

「罹患報告書」（保護者記入）の対象となる感染症

12. インフルエンザ 13. 感染性胃腸炎 14. 新型コロナウイルス感染症

※「罹患報告書」は、学校のホームページからダウンロードできます。医師より登校許可が出たことを保護者の方が記入し、登校の際にご提出ください。

定期健康診断

- 毎年春（4～6月）に定期健康診断を行います。ほけんだよりをよくお読みいただき、提出物等のご協力をお願いします。
- 健康診断に先立ち、「健康調査票」をお配りします。既往症、持病、アレルギー、最近一年間の健康、学校生活での配慮事項など項目にそってご記入ください。



ご家庭での健康観察

- 朝の健康観察を、お子様の日頃の状態を一番よくわかっている保護者の方の目で行います。「今日一日、皆と一緒に元気に学習や活動をすることができるか」が登校のめやすになります。
- 子供は、言葉でうまく表現できないことも多くあります。目覚め・食欲・顔色・顔つき・便の状態・元気など、いつもと変わった様子はないか、注意してみてください。
- 体調がすぐれないときは、ご家庭でゆっくり休ませて様子をみてください。

8 学校給食

■ 学校給食の目標(学校給食法 第2条)

- 一 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 二 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 三 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 四 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 六 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 七 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

これらの目標に沿った献立を自校で作成し、衛生面に細心の注意を払いながら、安全・安心で美味しい給食づくりに努めています。

■ 食物アレルギーの対応

本校では、食物アレルギーを持つ児童への対応を次のような手順で行っています。

①「学校給食食物アレルギー申出書」の提出(全員)

② アレルギーがあり、除去食対応を希望する場合

医師による「学校生活管理指導表」の提出(用紙が必要な場合はお申し出ください。)

③ 給食が始まる前に面談、対応を検討させていただきます。

なお、以下の食材は学校給食において使用いたしません。

	品目	理由
特定原材料	そば・くるみ 落花生	摂取量が微量であっても重篤なアレルギー症状を 起こすため。
特定原材料 に準ずるもの	アーモンド カシューナッツ	新規発症原因食物としてアレルギー発症事例が多 く、町田市立小学校給食において、これらの食品に 食物アレルギーを有する児童が最も多いため。
	キウイフルーツ バナナ	新規発症原因食物としてアレルギー発症事例が多 く、町田市立小学校給食において、これらの食品に 食物アレルギーを有する児童が多いため。
	いくら	生食のため、給食での使用がないため。

※学校に通い始めてから、新たにアレルギーが発症する場合があります。もしそのようなことがあった場合は、すみやかにご連絡いただけますよう、宜しくお願いします。

■ 給食が始まる前にご家庭で取り組んでいただきたいこと

1. 色々な食材に挑戦してみる。

- ・好き嫌いをしないでなんでも食べます。(野菜、魚、豆類、海藻類は食べられますか?)
- ・感謝の気持ちや、もったいないという気持ちを持ち、なるべく残さないで食べます。
- ・給食に出る食べ物は、家でも食べてみます。

2. 基本的な食事のマナーを身に付ける。

- ・立ち歩かず、落ち着いて座って食べます。
- ・上手に箸を使い、茶碗やお皿は持って食べます。
- ・柑橘類の皮はむけるようにします。

